



吉田のかるた

学校長 有村 恵

早いもので3月になりました。梅の花も満開。春はもうすぐそこです。さて、本年度も、2月9日（木）にかるた大会を行いました。平成30年2月にできた吉田のかるたは、読札と絵札からなるかるたの他に1冊の解説書もまとめられています。この解説書のはじめには、以下のように記されています。

【前略】子供たちには、かるたに描かれている「吉田の宝物」を心の原風景としてこれからもずっと忘れずに大切に、自分の道を進んでほしいと願っています。さらにこのかるたを、世代を超えて人が集い、「吉田の昔と今、そして未来を語る」笑顔あふれるひとときを過ごすきっかけにさせていただけると幸いです。【後略】—「吉田のかるた」解説書より—

県内の学校で校区の自然や歴史、文化・伝統芸能をかるたという形でまとめている学校は珍しいと思うことです。作成当時からそう時間は経ってはいないのですが、それでも近頃、変化したり、あまり見なくなったりしたものがあります。どんなに時代が進もうとも、かるたの中で生き続けることで語り継がれることは良いことだと思います。まさしく前述で紹介したとおりです。

私が解説書を読みながら、気になった読札を紹介したいと思います。

- ・い 武士たちも 積んで伝えた 石垣じゃ
- ・う 半次郎 鍬でたがやす 宇都谷
- ・き とんがりコーン 麓にあったぞ きんぼう神社
- ・そ 交流深めて 絆を結ぶ 疎開の碑
- ・と 湧く水が 暮らしを支える とのさま井萱
- ・の 遠い日の 賑わい思っ 野町を歩く
- ・ま カみなぎる パワースポット 松尾城

【お知らせ】
吉田コミュニティセンターで一セット500円で販売しています。よろしければお買い求めください。

ん…うんだもう こげんなっせえ んだもした一んの解説の最後にはこのような記述があります。

【略】「寛容」「寛容の心・気持ち・精神」これらが下支えしている言葉、表現だということでしょう。柔和な笑顔と一緒に、宝物のような言葉「んだもした一ん」が今日もふるさと吉田に響きます。（終）—「吉田のかるた」解説書より—

わたしたちの「ふるさと吉田」よかといです。

